

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
都市環境工学 (Urban Environmental Engineering)	選	靄巻 峰夫	4 年生 環境都市工学科	学修単位 1	半期 週 2 時間							
授業概要	都市域における環境問題の環境問題とその現状と対策技術を学ぶ。											
到達目標	①都市における環境問題の種類と現象を理解する。(C-1) ②主要な都市環境問題の対策技術を理解する。(C-1) ③初歩的な数値予測手法を理解する。(C-1)											
評価方法	定期試験の結果60%， 演習の提出状況・内容を40%で評価する。											
教科書等	[教科書]羽田・江成著「環境工学」森北出版											
内 容	(15週間で授業を18回実施する。なお、1回の自宅演習は200分を目処にする。)				学習・教育目標							
第 1 回	都市環境問題の種類と現象 (オリエンテーション)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 2 回	大気汚染 (汚染源、原因物質、現象、被害)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 3 回	大気汚染 (対策技術、対策法令)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 4 回	大気汚染 (予測技術)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 5 回	騒音・振動 (発生源、被害、伝搬の基礎理論)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 6 回	騒音・振動 (対策、予測技術)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 7 回	土壌汚染 (汚染源、原因物質、現象、被害)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 8 回	土壌汚染 (対策、予測技術)	(自宅演習)	C-1 (d1)									
第 9 回		(自宅演習)										
第10回		(自宅演習)										
第11回		(自宅演習)										
第12回		(自宅演習)										
第13回		(自宅演習)										
第14回		(自宅演習)										
第15回		(自宅演習)										
第16回		(自宅演習)										
第17回		(自宅演習)										
第18回		(自宅演習)										
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
						◎						

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

都市環境工学 4学年

都市環境問題の種類と現象（第1週）

都市環境問題の概況を理解して、講義の枠組みについて理解する。

大気汚染（第2―4週）

大気汚染問題について工場の排煙、自動車排出ガスなど排出源別に、汚染物質や現象・被害を理解した上で、対策技術と対策のための予測手法について学習する。

騒音・振動（第5―6週）

騒音・振動の発生源と被害を理解した上で、対策技術と予測技術について学習する。

土壌汚染（第7―8週）

土壌汚染問題の発生原因や発生源、原因物質と被害を理解した上で、対策技術について学習する。